

三とせの青春



祝 卒業

普通科第54期生・理数科第46期生



卒業生入場



校長式辞



在校生送辞 12R山本雄世



卒業証書授与 理数科代表 1R古藤咲希



卒業証書授与 普通科代表 2R三島治仁



卒業生代表答辞 代表 1R 山本悠太郎

担任からのメッセージ

1R 降井直人

まさに、きみたちとともに歩んだ
「三とせの青春」でした。
色々なものが詰まっている。
苦しいときは、ここに立ち帰ればいい。
卒業、おめでとう。

3R 布野泰彦

遠く遠く離れていても、君のことがわかる
ように、力いっぱい輝ける日を
新しい街で迎えてください。
君たちとの3年間は僕にとっての宝物です。
辛いことにも負けんよ。お元気で！

5R 登城智宏

みんなよりちょっと先に できあがった
卒業アルバムを 拝見しました。
たくさんの「いい顔」で溢れています。
きっとこの世界の共通言語は「いい顔」
なんですよね。 卒業おめでとう。

7R 石飛 隆

「未来を信じ 未来に生きる」
未来は決まっていません、これからです！
卒業おめでとうございます。

学年主任 土江庄二

南高54期生の皆さんはわたくしにとって
南高で3年間をともに過ごした学年でした。
駆け抜けていった幻のような3年間でした。

2R 澤江晋亮

人生何が起こるか「わからない」
だからおもしろい。
縁を大切に、仕合わせな人生を!!
御卒業おめでとうございます。

4R 嘉藤聖子

卒業おめでとうございます。
苦しい時には、力になって
くれる人がいることを忘れずに。
苦しんでいる人がいたら、
助けてあげる気持ちを忘れずに。

6R 舟越真雄

ご卒業おめでとうございます。南高での勉強や
経験はこれからの人生の糧になるはずですよ。
しかし、今の自分に満足することなく、さらに
「学び」を深めたいものです。お互い頑張ろう。
In bocca al lupo!

8R 伊藤由実子

卒業おめでとう。
若いときは「野心」「ハングリー精神」を
燃料に進もう。できるかなあという不安と
背中合わせだけど、「生きている実感」が
味わえるから。

校長式辞

春の気たつを以て也

立春から早ひと月、幾度の寒波にも日脚は徐々に伸び、雪も遠くの山々の頂きに残る白糸を残すのみとなりました。陽気を発した地上にはみどりの息吹も感じられ、ほどなくこの矢の原の地にも桜の便りが聞こえてくることでしょう。

本日、平成 28 年度島根県立松江南高等学校卒業式を挙行いたしましたところ、吾郷孝博 PTA 会長様、浅野俊雄 矢の原教育振興会会長様をはじめといたしまして、多数のご来賓の皆様方のご臨席を賜り、巣立ちゆく卒業生の門出にひときわ華を添えていただきましたことに、高いところからではございますが、深く感謝申し上げます。

また、本日ご列席いただきました保護者の皆様方には、ここにめでたくお子様の栄えあるご卒業をお迎えになられましたことを、心よりお祝い申し上げます。これまで陰に陽にお子様を支え、育ててこられましたそのご労苦に対しまして、敬意を表しますとともに、本校教育にご理解とご協力を賜りましたこと、重ねて感謝申し上げます。

先ほど、卒業証書を授与しました 285 名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。我々松江南高校の教職員は、皆さんの卒業を心から祝福します。

皆さんは勉学、部活動、学校行事などに多くの成果をあげてこられました。

全国大会をはじめとした、多くの部活動の大会では、保護者の方々や仲間の声援を受けながら懸命に戦う姿に、また、自己の感性を磨き、技術を高めながら創造する姿に多くの感動を受けました。一方で、不安や孤独と戦いながらも、希望する進路の実現のため黙々と勉学に励む姿を頼もしく思い、心から健闘を祈ってきました。そして、学園祭をはじめとした学校行事では様々に工夫を凝らし、下級生をリードしながら立派に成功に導いてくれました。この学年の絆が強く育ったことを嬉しく思います。

さて、皆さんが松江南高校に入学された平成 26 年秋、パキスタン出身のマララ・ユスフザイさんが 17 歳の若さでノーベル平和賞を受賞しました。この前年、16 歳の時の国連スピーチで、本とペンを武器にして無学、貧困、テロリズムと闘うことを呼びかけ、世界中の人々の感動を誘いましたが、授賞式では「戦車をつくることは簡単なのに、学校を建てるのが難しいのはなぜか。」と世界の指導者たちに問いかけました。ペンも本も学校もある当時高校一年生の皆さんはどのように感じたのでしょうか。

あれから 3 年が経ちましたが、グローバル経済の鈍化とともに相対的に見え始めた保護主義的な動きは、アメリカ新大統領の登場で一層加速されたように思えます。各国の連携と協調無くしては解決できない国際課題の多くも解決に向かう道筋が見えません。

しかし、そのような中にあっても多くの人々、多くの国々が、自分や自国の利益のためだけではなく、正義と未来と人類の尊厳のために知恵を絞り、課題解決に奔走していることを頼もしく思います。日本は成熟した国です。皆さんは一時の感情や狭隘な考えで行動するのではなく、知恵と勇気をもって、成熟した国の一員としての誇りのもとに行動しなければなりません。

少し前、20 年後には国内人口の半分にあたる職業が人工知能やロボットで代替されるとの推計が発表され話題になりました。しかし、この推計報道には新たに生まれるであろう職業については触れられていません。18 世紀にはじまった産業革命は多くの仕事を奪いながらも、大量生産による流通産業の発展を呼び起こしました。その流通産業も、近年の情報技術の発達により変革を強いられていますが、一方で新たな業種を生み出してもいます。すでに様々な分野で人工知能が利用されており、その能力も驚くほどのはやさで進歩していますが、通訳ロボットができて、外国語を学ぶ必

要が無くなるとは思いません。産業技術や国際関係が変わろうとも、我々は新たな時流の中で生きていくことが可能です。だからこそ我々は世の中の問題に正対し、知恵を磨かねばなりません。

私はこれまで皆さんに、ものの理（ことわり）を考え、正義を考えよと訴えてきました。幼い頃、我々は世の中に正義は一つしかないかのように思ってきましたし、あるいは教えられてきました。しかし、実際には、ある人の正義と別の人の正義が違うことが多くあります。民族、宗教、文化の違う国家間では価値観が違うのは当然でしょうし、企業と企業、人と人の間でも同様です。だからこそ我々は異文化を理解し、正義のために物事の本質を考える必要があるのです。

皆さんが社会人になれば、今までとは比べものにならないほど多くの人たちとの出会いがあります。未来は多くの困難をもって皆さんを待ち構えています。哲学者ショーペンハウアーは積み荷の少ない船が不安定であることに例え、「人生は心配や苦痛、苦勞を背負っている方がうまく進める。」と言いました。高いところに登るために螺旋階段が必要であるように、行き来をしながらでも様々な経験を重ね、生きる術を学び、海原を俯瞰できるよう、仲間と支え合いながら勇気を持って大海に漕ぎ出でてください。

終わりにになりましたが、卒業生の皆さんが心身ともに健康で、のびのびと活躍されることを心から祈念し式辞といたします。

平成 29 年 3 月 2 日

島根県立松江南高等学校

校長 長野 博